

2020  
6・22

月4回  
月曜日発行

第1154号

# 週刊ビル経営

発行所 ㈱ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03 (3543) 7421  
FAX 03 (3543) 5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎取材班グループ

## ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM  
会社を経て現職。一級建築士、  
宅建士。「倉庫ドクター」とし  
て建築面からオーナー支援に取り  
組む。

を見つけたしなやかさを備えた地  
域づくりの大切さで  
る、そんな価値観  
が芽吹き、都市化した生活様式か  
つつあり、より高度に洗練され  
ます。た文化とともに地域に  
戻っていく、地方分散  
制限された生活型社会への移行が取り  
た生活は、身近に  
な楽しみ、人の体温を感じさせる  
さ、既に、ような徒歩圏内におけ  
ある豊かな楽しみ、充実が改め  
さを再発注目されています。  
見、再認自分たちの地域の魅力  
を再発見することは、  
まさに地域分散型社会  
への第一歩となること  
も、その人ら  
しさを活かし、散らばったりしなが  
た取り組み、地域の豊かさのあ  
は、私たち人  
間の底力を感じ、このよう意識を持  
じます。故郷  
で暮らす私の  
家族も気を落  
としていますか  
倉庫リノベーション  
と思いきや、も、費用をかければか  
手作りマスク  
をつくらせて販  
売したり、畑  
で野菜をつく  
ったりと、今  
を楽しみ、身  
の回りでの小  
さな経済活動  
を実践するこ  
とで、生きが  
いを見つけて  
いるようです  
た。その等身  
大の取り組み  
は、とてもヒ  
ューマンニ  
ティに溢れ、愛  
おしく感じま  
した。倉庫は無  
限の可能性を  
秘めたキャン  
パスです。そ  
こに人間らしい  
命を吹き込む  
ことで、建  
物は輝くので  
す。

緊急事態宣言が解除され、少しずつ人やモノの移動が戻りつつあります。コロナの前後で私たちの生活や価値観は変わりました。元に戻ることがなく、これがひとつの時代の節目・潮目となるでしょう。

私たちは移動が制限された生活を実践していくなかで、ZOOMなどのツールを使ってリモートワークやオンラインの飲み会を行い、移動時間をカットして有意義に過ごせることを知りました。経済活動・生産活動の大半が都心部に集中していた生活様式から、手の届く範囲での生活の変化を経験して、より大きな可能性を思っているのは、柔軟性と

## 第26回「等身大の暮らし、その魅力」

を秘めたキャンパスです。そこに人間らしい命を吹き込むことで、建物は輝くのです。